

2018年3月期 決算説明資料

2018年6月6日

テクノホライゾン・ホールディングス株式会社

代表取締役社長 野村拡張

目次

- I. テクノホライゾングループについて
- II. 2018年3月期 決算概況
- III. 2019年3月期 通期業績予想
- IV. 経営課題の取り組み

I. テクノホライゾン（Technohorizon） グループについて

テクノホライゾン・ホールディングス（会社概要）

社名 (英文名)	テクノホライゾン・ホールディングス株式会社 (TECHNO HORIZON HOLDINGS CO., LTD.)
設立年月日	2010年4月1日
事業内容	<ul style="list-style-type: none">・ 傘下の事業会社の経営管理・ 子会社の事業内容は「光学事業」と「電子事業」
所在地	愛知県名古屋市南区千竈通二丁目13番地1
代表者	代表取締役社長 野村 拓伸
資本金	2,500百万円（2018年3月末現在）
グループ従業員総数	865名（2018年3月末現在連結ベース）

テクノホライゾン・ホールディングス（設立経緯）

オプト・エレクトロニクス技術と強いマーケティング力
をもってグローバルな事業展開を推進すべく
JASDAQ上場2社が2010年に経営統合

テクノホライゾン・ホールディングス

エルモ社

設立:1933年5月8日

光学事業

電子事業

タイテック

設立:1975年9月1日

中日諏訪オプト電子

設立:2009年8月10日

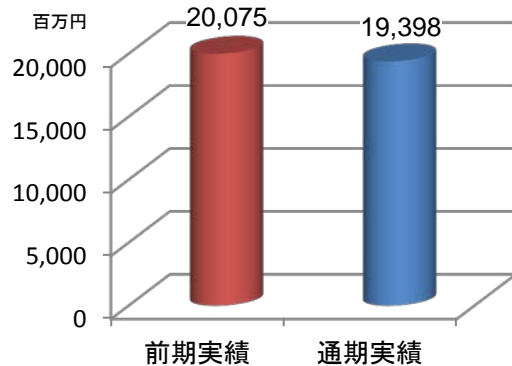
テクノホライゾン グループ経営理念

- ◆ **オプト・エレクトロニクス技術**
を核にグローバルな『人と社会』に貢献する
- ◆ **知恵とアイデアと積極果敢さ**
に溢れた事業展開を追求する
- ◆ 『**技術を活かすこと**』
『**皆さまのお役に立つこと**』
という姿勢を貫き、着実に前進する

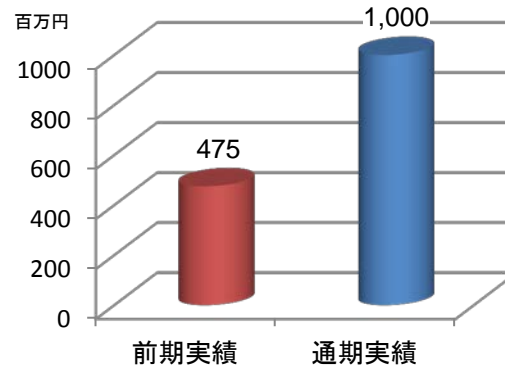
II. 2018年3月期 通期決算概況

2018年3月期 通期決算 ハイライト (1)

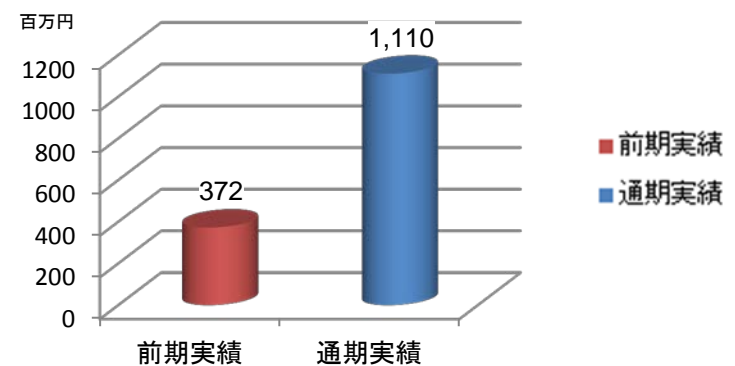
売上高



営業利益



経常利益



グループ連結(単位:百万円)	前期実績	通期実績	前期増減
売上高	20,075	19,398	△677
営業利益	475	1,000	525
経常利益	372	1,110	738
親会社株主に帰属する四半期純利益	△148	764	912

【売上高】 売り上げは微減。前年同期比3.4%減(△677百万円減)

【営業利益】 利益率の改善や販売費及び一般管理費の削減が進んだ結果、前年同期比110.5%増(525百万円増)

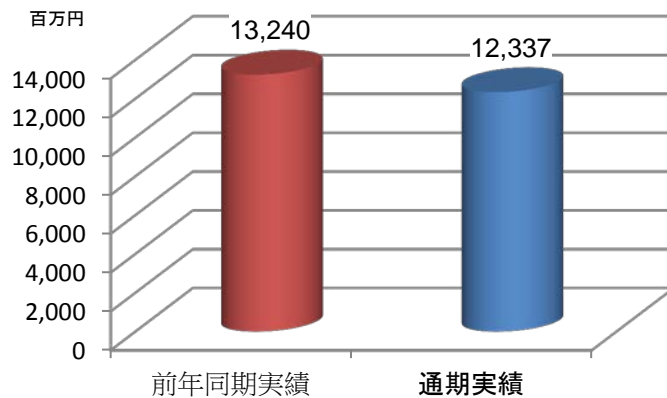
【経常利益】 為替差益118百万円計上により、前年同期比198.2%増(738百万円増)

【純利益】 子会社の固定資産譲渡により減損損失を198百万円計上、土地評価に係る繰延税金負債の取り崩しにより法人税等が93百万円減少したが、事業収益が増加したため912百万円の増益

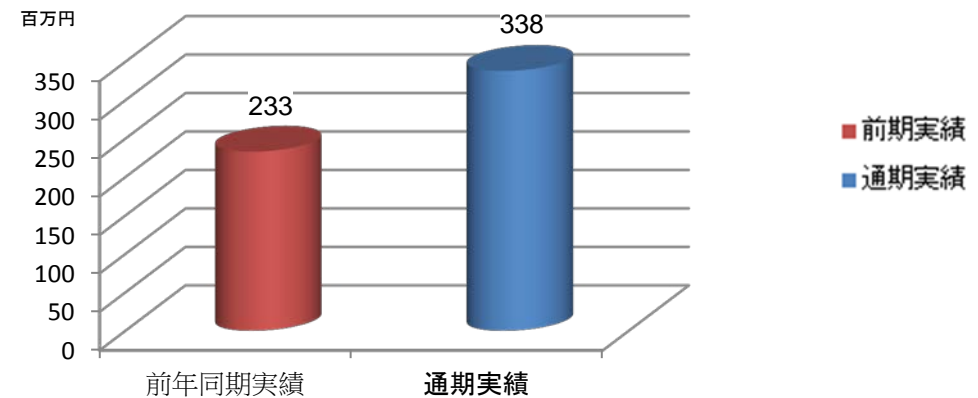
2018年3月期 通期決算 ハイライト (2)

【事業セグメント別】 光学事業

売上高



営業利益



事業別売上高(単位:百万円)		前年同期実績	上半期実績	下半期実績	通期実績	前期増減
光学事業	売上高	13,240	6,092	6,245	12,337	△903
	営業利益	233	138	200	338	105

注: 事業セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費等を除外しております。

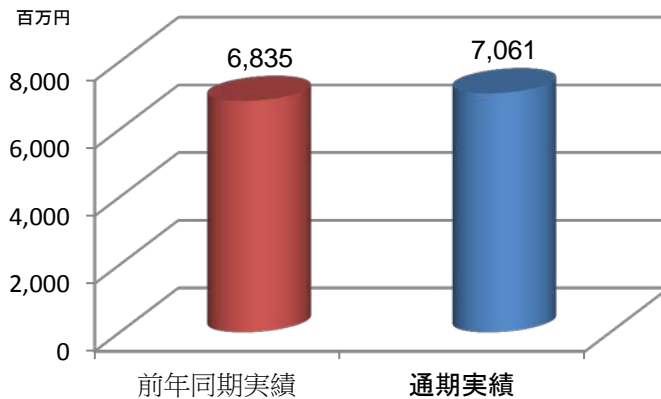
【光学事業】

- ・ 書画カメラ事業は、日・米・欧の市場で堅調に推移し、新興国を含めたグローバル市場の開拓、販路拡大により市場シェア確保を推進
- ・ 光学ユニット事業は、大量生産体制から「多品種・高品質・高付加価値」のビジネスへと転換
- ・ 業務用車載機器(ドライブレコーダ等)は、運送会社等の労務管理ニーズの高まりがあり、堅調に推移

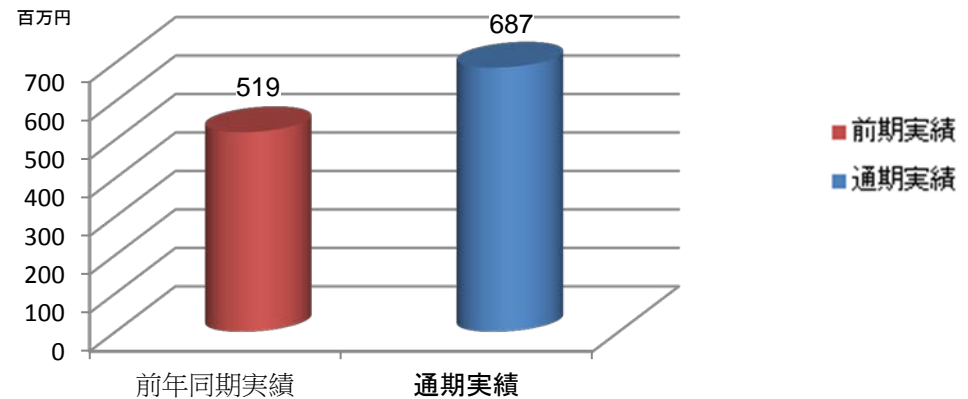
2018年3月期 通期決算 ハイライト (2)

【事業セグメント別】 電子事業

売上高



営業利益



事業別売上高(単位:百万円)		前年同期実績	上半期実績	下半期実績	通期実績	前期増減
電子事業	売上高	6,835	3,275	3,786	7,061	226
	営業利益	519	394	293	687	168

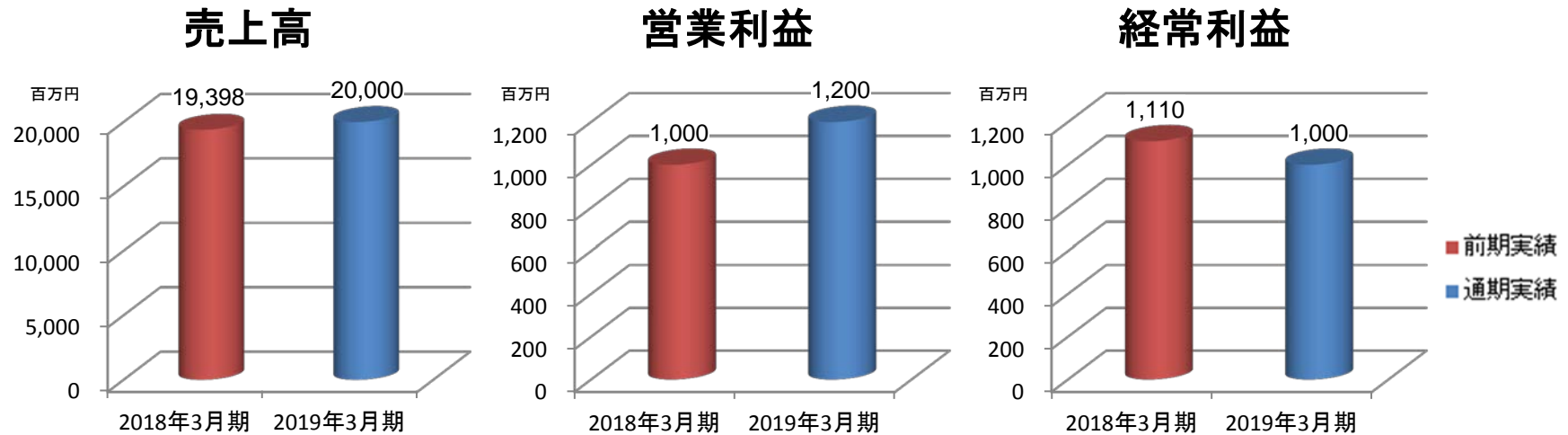
注: 事業セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費等を除外しております。

【電子事業】

- ・ FA関連機器は、国内景況感の回復から国内機械メーカーからの受注が順調に伸びる
- ・ FAの中国現地法人も、中国での人件費上昇による省力化ニーズは強く、堅調に推移

III. 2019年3月期 通期業績予想

2019年3月期 通期業績予想



(単位:百万円)	2018年3月期	2019年3月期	前年増減
売上高	19,398	20,000	602
営業利益	1,000	1,200	200
経常利益	1,110	1,000	△110
親会社株主に帰属する当期純利益	764	800	36

【今後の重点施策】

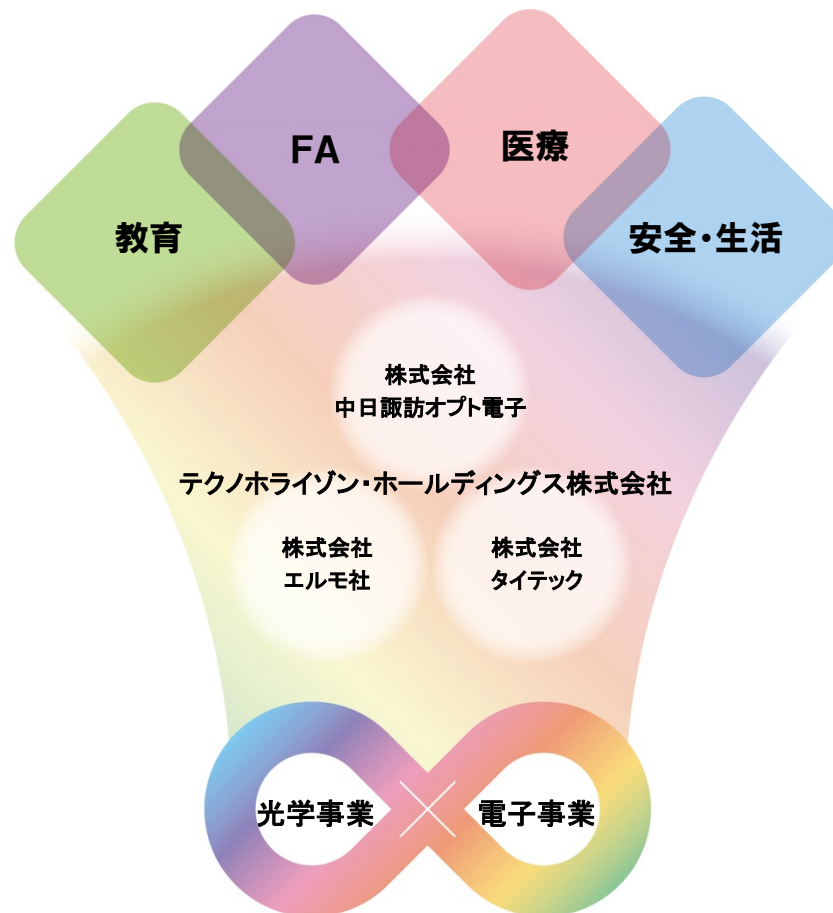
重点とする「教育」「FA」「医療」「安全・生活」の4つの市場で、既存事業のシェアを高めることに注力し、技術連携、協働商品開発の強化による高付加価値事業・商品への展開を推し進め、成長を目指す

- ・コスト削減の徹底
- ・製品開発力の強化
- ・業務改革の推進
- ・営業力の強化

IV. 経営課題の取り組み

成長戦略 : 4つの市場

「教育」「FA」「医療」「安全・生活」という4つの市場で、グループシナジー効果を活かしたオプトエレクトロニクスの製品やシステムを創出し、新たな世界を切り拓いていきます。



教育市場

教室のICT環境整備が進む教育関連分野で、カメラ・光学技術や画像処理・情報通信技術などを活かした製品を提案。先生方や子供たちが授業の中で使いやすいICT環境をトータルにサポートします。

FA市場

生産現場では、労働人口や熟練技術者の減少、多品種少量生産などさまざまな課題を抱えております。テクノホライゾングループの優れたFA制御技術から生まれる開発力とフレキシブルな対応で、モノづくりを強くする自動化設備ニーズを先取りします。

医療市場

ますます進む医療の高度化をサポートするための高精度な医療機器、モニタリング装置などを開発。また、カメラ技術を応用し医療現場で活用される各種映像機器や映像システムを提供します。

安全・生活市場

「安全・安心」な社会を実現するためのセキュリティ機器、暮らしの中で「楽しさ・快適さ」を感じられる趣味・レジャー製品など、人々の快適で豊かな生活をお手伝いします。

成長戦略：「教育市場」

書画カメラ№1の再構築

✓ ラインアップの強化

キーワード: 高画質、使いやすさ、低価格



コンパクト4K書画カメラ
MX-P



インタラクティブ書画カメラ
L-12iD



新型・次世代4K書画カメラ
PX-30 / PX-10

みえた・わかった・たのしい
ELMO

世界の子供たちに
届けたい！



次期書画カメラ

✓ アクセサリ製品のリファイン

キーワード: 便利、簡単操作、書きやすさ、ソフト充実



WiFi 書画カメラ
TX-1



世界最薄・最軽量 (当社調べ)
書画カメラ
MX-1

✓ 新たな技術分野へのチャレンジ

✓ グローバルマーケティングチームの設置

成長戦略：「FA市場」

新ブランド『ITANZI』立上げ

ありきたりの製品やサービスでは満たされないニーズまで追求し、常にユーザーにフィットするソリューションを行うことで、最大限の満足を提供する社内カンパニー『OFFICE ITANZI』を設立。



～ありきたりのモノでは満たされない。そこへプラスアルファの価値を～

FA 業界に新たな風を吹き込む「いい意味で異端児」となるべく『あったらいいな、できたらいいな』という想いを大切にしながら、新しい価値の創造にチャレンジしていきます

成長戦略：「医療市場」

産学共同研究

近年、医療技術の進歩はめざましく、研究や開発が進み、新しい検査法や治療が次々と導入されています。当社グループでは、教育界と産業界とが連携協力による共同開発を行っています。

産 共同開発 学

✓ 血管機能検査装置

国立大学法人 富山大学、株式会社 TAOS 研究所との共同研究

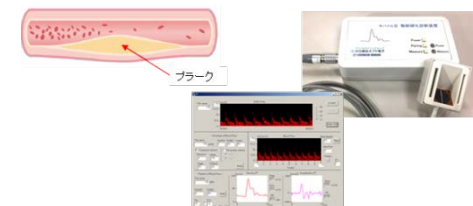
未病段階の血管内皮状態を検査することで
心筋梗塞や脳卒中を早期発見



✓ モバイル型動脈硬化診断装置

国立大学法人 徳島大学との共同研究

血管の変化による血流速の変化を超音波
ドップラーを用いて解析・検査



成長戦略：「安全・生活市場」(1)

「業務車輛・営業車輛」を扱う現場の
セーフティー&エコドライブを推進。



車載器ソリューション事業

画像圧縮・処理技術とレンズ・プロジェクタ技術を活用し、
業務用車両向け車載器を自社ブランドにて展開。



業務車輛用ドライブレコーダー



デジタル運行記録計



車載用
マルチインターフェース

決済端末ソリューション事業

キャッシュレス社会に向けてスマホを利用したQR決済、海外決済、
クレジット決済などマルチに対応できる専用端末を市場に展開。



モバイルペイメント対応
マルチ決済端末



業務用ハンディー
ターミナル

場所を選ばず、工事不要で簡単導入!!
インバウンド対応ソリューション



成長戦略：「安全・生活市場」（2）

- SNS、IoTなど時代にマッチした新しい映像をご提案
- 監視等用途に合わせた最適なカメラ・映像システムの開発



セキュリティ事業

ビジョン：特徴あるカメラで世界を変える、常識を変える！



防犯・監視カメラは『クラウド型』の時代へ
ELMO QBiC CLOUDで、かんたんセキュリティ

警備会社や設備メンテナンス会社での
遠隔作業支援システムに...



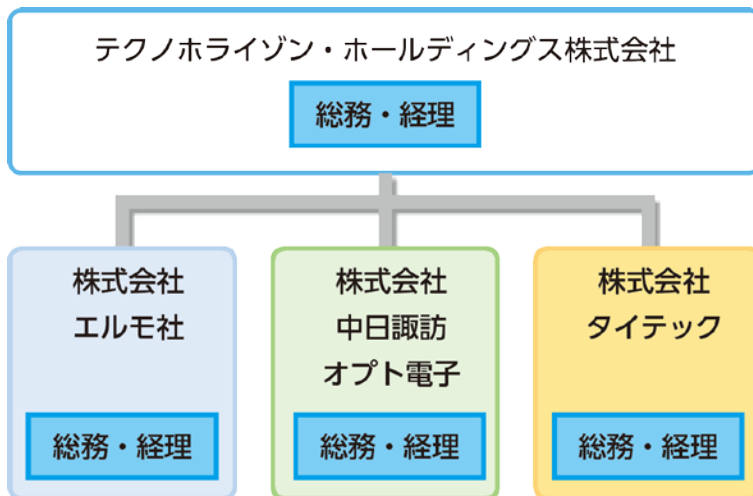
成長戦略：コスト削減の徹底

管理業務を集約するシェアードサービス導入

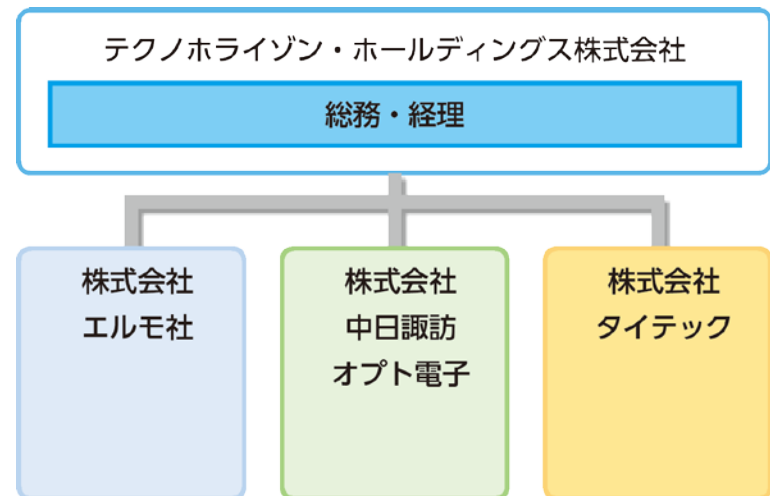
グループ全体の管理業務の効率化を目的として、
当社内にグループ各社の総務、経理などの業務を集約する
シェアードサービスを導入して推進いたします。

【シェアードサービスの概念図】

<導入前>



<導入後>



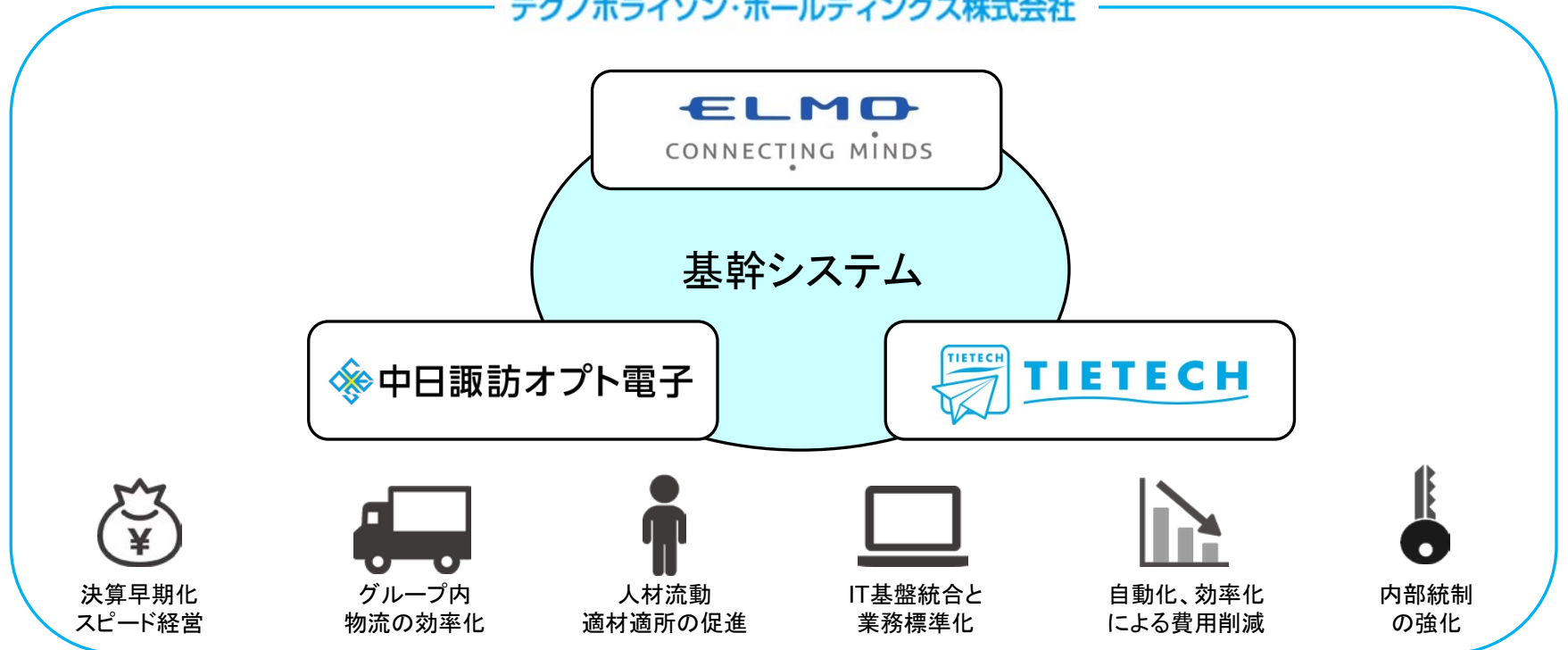
成長戦略：業務改革の推進

業務改革の推進

グループ会社を横断する「業務改革プロジェクト」を開始

グループ会社の基幹システムの統一を推進するとともに、「事業の平準化」「業務の見える化」を図り、業務の根本的な改善に努めます。

テクノホライゾン・ホールディングス株式会社



成長戦略：テクノホライゾングループ拠点

日本から世界へ、最先端の技術でグローバルなニーズにお応えします。

グローバル拠点



国内拠点



成長戦略 : トピックス

株式会社アド・サイエンスの全株式取得 (2018/5/29)

連結子会社であるタイテックが、株式会社アド・サイエンスの全株式を取得しました。当社グループの成長戦略であるFA事業領域の強化のため、マシンビジョンや特殊カメラなどに自社開発製品だけでなく、広く競争力の高い多種多様な製品の取扱いが求められています。アド・サイエンスは、産業用画像検査機器、分析機器(赤外線カメラ、電子顕微鏡周辺装置など)の輸入販売を営んでおり、当該製品をグループ内に取り込むことでシナジー効果を高めていけるため、全株式を取得しました。この取得により、さらなる魅力ある製品の提供をしてまいります。

 **アド・サイエンス**

成長戦略 : 新規顧客の獲得・マーケティングの強化

テクノホライゾングループ & エルモンソリューションフェア 2018

【東京会場】

場所: 科学技術館 2号館・3号館・4号館
東京都千代田区北の丸公園2番1号
日時: 2018年9月20日(木)～21日(金)
10:00～17:00



【名古屋会場】

場所: 名古屋国際会議場 白鳥ホール
名古屋市熱田区熱田西町1番1号
日時: 2018年11月27日(火)～28日(水)
10:00～17:00



成長戦略 : 新規顧客の獲得・マーケティングの強化

開催日	開催場所	展示会名
2018年4月	ポートメッセ名古屋	第3回 名古屋 機械要素技術展(M-Tech名古屋)
2018年4月	東京ビッグサイト	MEDTEC Japan 2018
2018年5月	東京ビッグサイト	第9回教育ITソリューションEXPO
2018年6月	東京ファッションタウンビル	New Education EXPO東京
2018年6月	パシフィコ横浜	画像センシング展2018
2018年6月	大阪マーチャンダイズ・マート	New Education EXPO大阪
2018年6月	東京ビッグサイト	第29回 設計・製造ソリューション展(東京)
2018年9月(予定)	科学技術館	テクノホライゾングループ&エルモソリューションフェア2018東京
2018年9月(予定)	ポートメッセ名古屋	第1回オートモーティブワールド名古屋(第1回名古屋自動運転EXPO)
2018年11月(予定)	名古屋国際会議場 白鳥ホール	テクノホライゾングループ&エルモソリューションフェア2018名古屋
2018年12月(予定)	パシフィコ横浜	国際画像機器展 2018
2018年12月(予定)	吹上ホール	第5回メディカルメッセ
2019年1月(予定)	東京ビッグサイト	第11回 オートモーティブワールド(第2回自動運転EXPO)
2019年2月(予定)	インテックス大阪	MEDIX関西2019

IR担当窓口

- 部署：テクノホライゾン・ホールディングス株式会社
- 役職：経営企画部長
- 氏名：加藤 靖博
- 電話：052-823-8551
- FAX：052-823-8560
- E-mail： info@technohorizon.co.jp

将来見通しに関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保障を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。また、業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。